

2024 新年号



長井法人会だより

第 42 号（通巻 43 号）発行 令和 6 年 1 月 31 日公益社団法人長井法人会 編集 広報委員会
長井市館町北 6-27 TEL0238-88-3960 FAX0238-88-3823 e-mail info@nagai-ho.jp URL:https://nagai-ho.jp



【写真説明】 沿道に雪あかりが灯る真冬のイベント「中津川雪祭り」 ※ 2 月 2 4 日（金・祝）開催

説明文・写真提供：（一社）飯豊町観光協会



令和6年 新年のご挨拶を申し上げます。



長井税務署
署長 堀込 進 氏



公益社団法人長井法人会
会長 梅津 正博

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、日頃から税務行政に対しまして深いご理解と格別なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、毎年恒例の今年の漢字に「税」が選ばれるなど税についての話題が注目を集めた年となりましたが、国税庁では6月に「税務行政のDXー税務行政の将来像2023ー」を策定し、新たに「事業者のデジタル化推進」を取組の柱として位置づけました。これは、税務を起点として、事業者が行う会計・経理等の様々な業務が一貫してデジタル化されることで、単純誤りの防止による正確性の向上、書類の保存コストの低減、バックオフィス業務の効率化を通じた生産性の向上といったメリットに加え、経営の高度化に資することを期待しています。

このため、国税庁としては、税理士の皆様や関係省庁等と連携し、事業者のデジタル化に向けた環境整備に努め、社会全体のデジタル化にも貢献していきたいと考えています。会員の皆様におかれましても是非、業務のデジタル化を検討していただきますようよろしくお願いいたします。

さて、まもなく確定申告が始まりますが、税務署では、自宅等からのe-Taxの利用、キャッシュレス納付を推進しております。会員の皆様をはじめ従業員の確定申告については、自宅等からのe-Tax（特にスマホ申告）の利用をお願いします。

結びになりますが、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご繁栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり謹んでご挨拶申し上げます。

皆様には、日頃より長井法人会の事業運営等にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年も、会員企業を始め地域社会に貢献できる事業を推進して参りますので、宜しく願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、日常生活を取り戻したかに感じておりましたが、お正月に起きた地震や飛行機事故には驚愕致しました。被害に合われた皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興を願うばかりです。

世界に目を向けると原油や原材料の高騰により、食料品をはじめ何もかもが値上げとなり、先行きが不透明で混沌とした様相となっております。

法人会として、基本的指針に則り、税を活動の中心に据え粛々と事業を展開して参ります。継続事業として「租税教室」「税に関する絵はがきコンクール」「税のカレンダー」「税制改正の提言」「税法等セミナー」等を展開して参ります。社会貢献事業は、今年度白鷹支部が担当となり、地域のお役に立てる事業を検討して参ります。

また、今年度は青年部会が設立して30周年の年を迎えます。これまで継続してこれたのも諸先輩の皆様のご指導の賜物と感謝申し上げます。感謝の気持ちを込めて、地元にお返しできるような事業を展開して参りたいと存じます。

最後になりましたが、会員企業に取りまして益々ご発展されますとともに、皆様のご健康を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和5年度 納税表彰受賞

納税表彰は、適正な申告と長年の税務行政・租税教育等に関して功績顕著な個人・団体が表彰されるものです。

令和5年度は、長井税務署長表彰を堀江副会長(株ホリエ)が受賞されました。



▲堀江副会長

▲堀江税務署長

去る十月十八日、高崎芸術劇場にて開催。全国から約千五百名が集まりました。当会から、梅津会長と北原副会長、小笠原副会長、事務局が参加しました。

大会宣言では、コロナ過がほぼ収束したこと、経済財政運営を平時に戻すべきであることを基本認識とし、2025年度の基礎的財政支出の黒字化目標について強く求めたうえで、

その後の健全化計画についても議論を開始すべきと提言を取りまとめました



第39回法人会全国大会 群馬大会



令和6年税制改正スローガン！

- ①財政健全化は国家的課題。負担を先送りせず現世代で解決を！
- ②企業への過度な保険料負担を抑制し、経済成長を阻害しない社会保障制度の確立を！
- ③経済再生には中小企業の力が不可欠！
- ④本格的な事業承継税制の創設を！



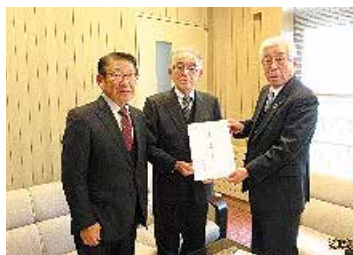
各自治体へ訪問し、首長さんと意見交換

令和6年度税制改正に関する提言活動

全法連でも 提言活動展開！



▲自由民主党 10月10日
税制調査会長宮沢洋一氏へ左から
2番目へ



▲白鷹町へ 令和5年12月5日訪問
左から青木監事/齋藤副会長/佐藤町長

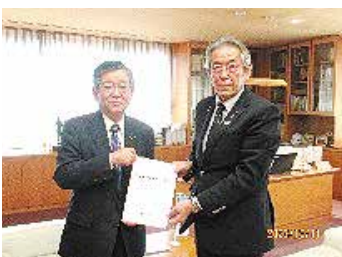


▲飯豊町へ 令和5年11月21日訪問
左/後藤町長 右/堀江副会長

各単位会の意見を集約し、全国法人会総連合で取り纏めた「税制改正に関する提言」を、全法連、各県連、各法人会が分担し毎年提言活動を行っております。

当会では、十一月二十一日飯豊町を皮切りに、十一月二十八日に長井市へ、十二月五日には白鷹町へ、そして十二月十一日には小国町へ要望活動を展開しました。

提言内容は、コロナ対策で膨大に膨れ上がった国債を踏まえ、行財政改革の在り方、経済活性化や中小企業対策等について説明した他、現状で取り組むべき課題について情報を交換いたしました。



▲小国町へ 令和5年12月11日訪問
左/仁科町長 右/鈴木副会長



▲長井市へ 令和5年11月28日訪問
左から 小笠原副会長/北原副会長
梅津会長/齋藤副市長



▲財務省 10月27日
財務副大臣 矢倉克夫氏へ
左から2番目

11/20 税を考える週間記念講演会 講演会と演奏会

YAMAGATA と世界を結ぶ Hub になる山響を目指して

・・・危機を乗り越えて世界を目指す・・・



▲講演会講師
(公社)山形交響楽協会
専務理事兼事務局長 西濱秀樹氏



▲司会/佐藤研修委員長 ▲挨拶する梅津会長

十一月二十日に開催した「税を考える週間記念講演会」は、山形交響楽協会の専務理事兼事務局長の西濱秀樹氏の講演会と、弦楽四重奏により演奏会の二部構成で開催。

西濱氏は、関西フィルハーモニー管弦楽団に入社後、楽団の法人化と黒字化を達成され、約八年前から山形交響楽協会の現職にある事を話された。

山響は、公益社団法人として運営されており演奏者は給料制である事、また、一昨年に創立五十周年を迎えた東北初のプロ集団であることを説明した。

社会的な役割や中長期的な将来像や方針・戦略など参加された経営者の方は大いに刺激を受け、もう一度お聞きしたいとの声もいただきました。

二部の弦楽四重奏では、ヴァイオリン二名・ヴィオラ・チェロそれぞれ一流の演奏者が奏でる本物の音色に酔いしれた一夜でした。

社会貢献事業

「くるんと」へ八重桜を植樹

今年度の社会貢献事業は、長井南支部と長井北支部の合同で、長井市役所隣接の「長井市遊ぶと学びの交流施設くるんと」に「八重桜」五本を寄贈しました。

十月十二日に内谷長井市長をはじめ、長井市の幹部職員、くるんとの施設長、さらに当会の多くの役員の参加を得て、植樹式が行われました。

春になれば、満開の桜が市内外から来訪者を迎え入れ、皆様に長く愛されることを願い植樹いたしました。



おらんだラジオで税の広報活動



FM 放送おらんだラジオで、とても身近なのに意外と知られていない「税」について、分かり易く税の使い方や仕組みなどについて、皆さんに知っていただき、正しく理解していく番組として、10月から12月の毎週日曜日に放送いたしました。令和3年度に続き第2回目です。おらんだラジオの岡田さんと役員が会話形式で話を進め、クイズ形式を用いたり、税だけではなく法人会の活動もご紹介しました。

長井法人会 HP からも聴くことが出来ます。

長井法人会 HP URL: <https://nagai-ho.jp>



▲10月1日放送
インボイス制度について
堀江氏／安部氏



▲10月8日放送
租税教育について
鈴木氏／大竹氏



▲10月15日放送
酒税について
菅野氏／佐藤氏



▲10月22日放送
社会保険料について
小笠原氏／児玉氏

知ってほしい税のおはなし

第2弾



▲10月29日放送
ふるさと納税について
後藤氏／尾形氏



▲11月5日放送
青年部会全国大会
井上氏／吉田氏



▲11月12日放送
税務署について
堀込氏／高橋氏



▲11月19日放送
確定申告について
金田氏



▲11月26日放送
税制改正について
松田氏／高橋氏



▲12月3日放送
社会貢献について
牛澤氏／衣袋氏



▲12月10日放送
確定申告について
寺嶋氏



▲12月17日放送
日本と世界の面白い税
寺嶋(ひ)氏



▲12月24日放送
「法人会について」
梅津会長



白鷹支部視察研修会

去る十月二十五日に会津若松方面へ視察研修に出かけました。まずは、鶴ヶ城天守閣へ！

観光ガイドさんの巧みな話術に引き込まれながら、鶴ヶ城の歴史と会津の遺産に触れてきました。

コロナ収束に伴い、平日にも関わらず、多くの外国の観光客が訪れていました。この日は、晴天に恵まれ青空と天守閣の白に、威厳と風格を感じました。

昼食は、古民家の渋川問屋で会津の郷土料理を堪能。蔵座敷でいただく料理は、素朴で何処な懐かしさ、心がホッとする時間となりました。

その後は、昭和レトロ風情満載の七日町通りを散策し、話題の菓子など面白い物を楽しみ、飯盛山へ移動。

白虎隊が悲劇の最期を遂げたことで知られる歴史のスポットである小高い山には、スロープコンベアを使用し山頂へ。鳥居をくぐると一瞬にして空気が変わったように感じに、お賽銭と線香をあげ白虎隊に想いをこめて、手を合わせて来ました。下りの途中で、重要文化財の「会津さざえ堂」を見学。上りと下りが別ルートで、すれ違う独特の構造は、実際体験してみると不思議な感覚に捕らわれました。

茶屋のお団子を頬張りながら帰路につきました。



青年部会

全国青年の集い
「山形大会」開催

11/9-10



やまがた県民ホールを会場に、全国から二千名を超える参加登録を得て、盛大に開催されました。

昨年度の沖縄大会からプログラムに加わった「会員交流分科会（テーマ①租税教育②健康経営）」には、定員の1.5倍の申込みがあり、活動に対する熱意が感じられました。

当会青年部では、九日の「租税教育活動プレゼンテーション・健康経営大賞」をはじめ、十日の「会員交流分科会」を担当。全国各地から集ったメンバーが交流し、お互いの悩みや成功例を共有出来た事は、青年部会の活性化に繋がる実りある大会となりました。

11/30 須賀川・米沢・長井青年部会 交流会



今年度は、福島県の八幡屋を会場に交流会が開催されました。吉田部会長はじめ五名が参加しました。

9/12 Google で始める DX



山形市の（株）エム・エス・アイの穴戸秀雄氏を講師に、グーグルが提供する様々なビジネスツールを学びました。東日本大震災の時、手元の資料は全て無くなったが、グーグルクラウドに預けていたお陰で、仕事ができたと事例を交えてこの時から、クラウドの認識が高まったと説明。政府はDXを後押ししており、多くの補助金があるので利用すべきと話されました。

部会長
吉田 重成



租税教室、管内全ての小学校で開催しました。

青年部会は、
11校を担当しました



▲5/2 東根小



▲5/18 豊田小



6/5 荒砥小



▲6/6 添川小



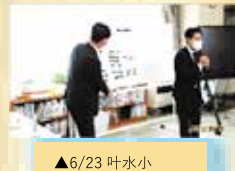
▲7/12 伊佐沢小



▲7/14 致芳小



▲5/19 小国小



▲6/23 叶水小



▲7/13 長井小



女性部会は、
5校を担当しました



▲5/23 手ノ子小



▲5/31 鮎貝小



▲6/13 蚕桑小



▲6/20 第一小



▲7/4 西根小



▲7/18 平野小



▲7/21 第二小

女性部会

視察研修会

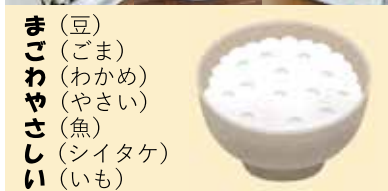
「食品ロスを考える」

7/10

今年度は、食品ロスを考えるをテーマに、「美味しい朝食を食べよう」と題し、後藤部会長の会社「マルシチ米穀」を訪問しました。

まずは、「食育と発酵食について」と題し、後藤部会長より、子供たちの朝食事情（ご飯食とパン食が半々等）や免疫力が強くなる食品7品目を学びました。「まごわやさしい」左記に表示

続いて「ご飯の食べ比べ」を行い、はえぬきは（さっぱりして細い）・つや姫（つや有、冷めても旨い）・雪若丸（粒が大きい、さっぱり、男性的）最後に「おにぎらず」作成し、具沢山の味噌汁や発酵食の麹納豆や甘酒入りのヨーグルト等、発酵食を沢山いただいた一日となりました。



まごわやさしい
(豆)
(ごま)
(わかめ)
(やさい)
(魚)
(シイタケ)
(いも)

12/19 リラックスヨガと フラワーアレンジメント



▲講師／寺嶋ひろみ氏



▲講師／花の店文化園の菅野社長を囲んで

10/5 鶴岡法人会女性部会と交流会



部会長
後藤 まつ

鶴岡法人会女性部会員十名と当会女性部会員七名が参加し、はぎ苑を会場に交流会を開催しました。昼食を食べながら情報交換し親睦を深めました。「くるんと」「長井市役所」など、新たな観光名所が話題となり、今後は、鶴岡の名所を訪ね、さらに交流を深めたいと話が盛り上がりしました。



税に関する絵はがきコンクール・カレンダー作成

今年度で第16回目を迎えた「税に関する絵はがきコンクール」長井西置賜管内の小学校16校中15校の六年生の皆さんから、348枚もの応募を戴きました。さらに、税務署長賞の小林さんの作品は、東北六県の小学校から応募があった約2万点の中から「仙台国税局長賞」を受賞されました。優秀作品25点で令和6年のカレンダーを作成しました。



▲長井税務署長賞（長井小）小林さん



▲法人会長賞（平野小）町田さん



▲女性部会長賞（第一小）嶋貴さん



▲女性フォーラム賞（豊田小）横山さん

失敗を恐れず挑戦

経営ジャーナリスト 疋田文明

厳しいようだが、賃上げをできない企業は生き残れない時代になってきた。

昨年、大企業は軒並みベースアップを実現している。

賃金の上昇は、おおよそ30年にわたって所得が増えてこなかったサラリーマンにとっても、日本経済にとってもいい傾向であることは間違いない。しかし、生産性向上が伴わない賃上げは、将来に禍根を残すことになりかねない。

法人企業統計によると、日本企業の人件費は、2018年度から2022年度にかけて2.8%増えたが、同期間の労働生産性は1%増えたにすぎない。

岸田総理は、「賃上げをしっかりと実現していく」と、繰り返しおっしゃるが、企業の収益力が向上しない限り、ことは通りにはならないといわざるをえない。

生産性向上は従業員の熱意

では、どうすれば日本企業の生産性は向上するのか。結果には必ず原因がある。

まずは、日本企業の生産性が低い原因から考えてみたい。

わたしが、その原因の第一にあげたいのは、従業員の熱意のなさだ。

2023年6月にアメリカのギャロップ社が発表した「グローバル職場意識調査」によれば、日本企業の従業員のうち、熱意あふれる人は5%にすぎず、調査対象国145カ国中で、イタリヤと並び最下位だったという。

ちなみに、2017年の同じ調査では、日本の熱意あふれる人は6%だった。では、なぜ日本のサラリーマンは、これほどまでに、仕事に熱意がなく、やる気

がないのか、その原因のいきつところは、給料の低さだと、筆者は考えている。日本人は、給料や昇格といった外発的要因よりも、

いかに収益力を高めるか

岸田総理は、内需拡大、いつてみれば経済成長の原動力として、賃上げを経済界に要請しているのだが、本来は、働く人たちが、後顧の憂いなく仕事に集中できるようなためにこそ、賃上げが必要だと、わたしは考えている。

大企業の多くには、貯め込んだ内部留保があるだけに、生産性の向上率以上の賃上げも可能だろうが、中小企業の場合は大企業並みとはいかない。周辺の企業が賃上げすれば、労働力はそちらに流れていく。

働きがい、社会貢献といった内発的要因を動機づけにするといわれてきた。

たしかにその通りなのだろうが、30年にわたって所得が増えなければ意欲も減退するというものだ。

最近、正社員ばかりでなく、パート、アルバイトの時給も高くなってきた。周辺企業の賃上げと人手不足が相まって、賃上げに応じられない企業には、ますます人がなくなってしまう。

失敗を糧に成功を手中に

IBMの二代目経営者、トーマス・J・ワトソンは、「成功を手にするためには、失敗を2倍に増やすことだ。失敗は成功の敵と思われるが、それはまったく違う。失敗して落胆するか、あるいはそこから学ぶかだ。

まう。

では、どうすればいいのか。単純だが、収益力を高めて、働く人たちに配分する原資を増やすしかない。

わたしは現状に満足することなく、失敗を恐れずに、積極的に行動することをおすすめする。

ところが、多くの日本企業は、「現状維持バイアスに陥っている」との指摘がある。

現状維持バイアスに陥るのは、失敗を恐れるからだが、失敗を怖がることはない。失敗を糧にできる企業が、高い収益力を手にすることができると、断言してもいい。

前進して、まちがいをするのがいい。できるだけ多く」といっているが、日本でも優良な経営者は、失敗を糧にして成功を手に行っている。本田宗一郎さんは、「成功というのは、99%の失敗を土台にしている」といっ

ておられたし、日本マクドナルドの創業者藤田田さんは、筆者の「これまで失敗されたことはなかったのですか」との問いに、「思いが及ばなくてうまくいかなかったことはある。世間ではそれを失敗というのだろうが、わたしは違う。次に思いを及ばせてチャレンジするだけのこと。世間でいうところの失敗は、わたしにとっては成功への第一ステップにすぎない」と答えられた。

最近の経営者で、失敗を活かすことに長けているのは、ユニクロ創業者の柳井正さんだ。柳井さんの著書「一勝九敗」に次の記述がある。

「経営は試行錯誤の連続で、失敗談はかぎりなくある。10回新しいことをはじめれば9回は失敗する。しかし、その9回の失敗が1回の大きな成功をもたらしてくれる」

柳井さんは、1997年に新業態としてはじめた『ス

ポクロ』『ファミクロ』を両店合わせて35店舗まで展開したが、1年以内に撤退している。また、食品事業でも失敗を経験している。

いまのユニクロは、海外での売上、利益が国内を超えているが、初期の頃の海外出店はことごとく失敗している。しかし、そうした失敗体験がなければ、今日のユニクロはなかったとするのが、柳井さんの考えだ。

失敗から学んで成功するのはスポーツ選手も一緒だ。サッカーのデビッド・ベッカムは、「わたしのフリ

挑戦の連続が道を拓く

本田宗一郎さんは、失敗したあと、反省はしないと

いけないが、なぜ失敗したかを、科学的に分析し、また挑戦すればいい。次も失敗するかもしれないが、また分析して、再度挑戦しろ、挑戦⇨失敗⇨反省（分析）⇨挑戦⇨失敗⇨反省（分析）の繰り返し、画期的なものを生み出すといってお

ーキックというところ、みんなゴールが決まったところばかりイメージするようです。でもわたしの頭には、数えきれないほどの失敗したシュートが浮かびます」とい

い、バスケットのマイケル・ジョーダンが、「わたしは、9000本以上シュートを外し、ほぼ300試合で負けた。ウイニングショットを任されて外したことは26回ある」と、ナイキのCMで発言している。

では、失敗を成功の糧にするためには、どのような取り組みが必要なのか。

られた。

柳井さんも、同じ趣旨の発言をしている。

「ほとんどの人は、成功したときも失敗したときも分析しない。なにかポヤツとして『成功してよかった』『失敗してまずかったな』としか考えない。実行した個々の内容を具体的に分析し、因果関係がわかるまで考え抜くことが

必要だ。次の段階で成功するには、徹底分析した経験の蓄積が必要になる」。

現状打破の精神で、失敗を恐れずにチャレンジし、失敗しても、それを糧にできれば、間違いなく収益力は向上し、それにつれて賃上げも可能になると考えていただきたい。

とはいっても、やみくもに挑戦しろといっているわけではない。挑戦にリスクはつきものだが、リスクは少ない方がいい。そのためには、そのチャレンジに、どの程度のリスクがあるのかを、事前に調査、研究しておく必要がある。

柳井さんは、典型的なリスクを恐れずにチャレンジする経営者だが、無茶をしているわけではない。

「リスクをとるには、リスクを量らなければならぬ。そこを勘違いしてはいけない。僕を冒険主義の経営だと思ふ人がいるようですが、それだったら会社はつぶれてしまいます。この

程度なら失敗しても大丈夫だと、リスクを量っているのです」。

さらに、「スポクロ」「ファミクロ」から撤退したと書いたが、その理由を問われた柳井さんは、「あのままつづけていけば、屋台骨までおかしくなると考えたから」と答えている。

まさに、事前にリスクを量っておいたから、損失が許容範囲を超えたときに、撤退したということだ。

中小企業の経常利益率の平均は、3〜4%台で、大企業の約半分の水準とのデータがある。

一方で、中小企業の上位10%の生産性は、大企業の中央値を上回っているとの指摘もある。

ようは、中小企業のなかには利益ベースで、大企業並みの水準にある会社もあるということだ。

中小企業の中での優良企業になれるように、失敗を恐れずにチャレンジしていただきたい。



新年のご挨拶を申し上げます

地域文化の拠点をめざして

合資会社 三浦屋書店

代表社員 梅津 正博

〒993-0007 山形県長井市本町二丁目3番10号

TEL (0238) 84-2022(代)

FAX (0238) 84-2023

・株式会社みうらや

・八文字屋長井店 83-1320



リサイクル型社会をめざして
再生資源加工処理業
産業廃棄物処理業
株式会社 北原産業

代表取締役 北 原 正



ISO14001 認証取得

●本社 〒993-0081

山形県長井市緑町11番37号

TEL 0238-88-2391

FAX 0238-88-2396

ホームページ <http://www.eco-kitahara.co.jp>

Eメール: info@eco-kitahara.co.jp



代表取締役社長

小笠原 和 徳

OGASAWARA KAZUNORI

◎地域未来牽引企業

小笠原建設株式会社

本 社 〒993-0041 山形県長井市九野本2217番地

TEL (0238) 84-22406 / FAX (0238) 84-4650

E-mail: ogs@skyblue.ocn.ne.jp

機材センター 〒993-0041 山形県長井市九野本2276-1



『お客様に安全で信頼される製品提供する』



炭素・炭化珪素・石英ガラス製品加工



荒川興業株式会社

代表取締役会長 鈴木 正 昭

〒999-1362 西置賜郡小国町大字緑町2-13-1

工場: 〒999-1355 西置賜郡小国町大字西169-15

TEL (0238) 62-2283 FAX (0238) 62-5540



人と自然のあいさを創る

華宝建設株式会社

一般土木 法面保護工事各種設計施工

代表取締役

小 口 聡

Satoshi Koguchi

〒992-0821 山形県西置賜郡白鷹町大字十王755-4

TEL (0238) 85-0837(代)

FAX (0238) 85-0833

携帯電話 090-9536-7595

E-mail: kaho-satoshi@if-n.ne.jp



取締役会長

堀江 勝彦

Katsuhiko Horie

一級建築士

一級建築施工管理技士

シエルホームデザイン [株式会社ホリエ]

飯豊オフィス

〒999-0604 山形県西置賜郡飯豊町椿2529

T 0238-72-2602 F 0238-72-2603

M 090-1069-9650 E khorie@horieweb.jp

www.cielhome.jp



テラシマ電子株式会社

<http://www2.jan.ne.jp/tera-ss/>

代表取締役

寺 嶋 宏 武

本社工場 〒993-0007 山形県長井市本町二丁目12-8

電話 0238-84-1597 FAX 0238-84-1599

E-mail: tera-ss@e.jan.ne.jp



株式会社 丸八鉄工所



明日に向かうエネルギー創造集団



〒993-0041

長井市九野本 491 番地の 2

TEL 0238-84-6514 FAX 0238-84-6516



代表取締役社長

尾 形 和 夫

株式会社 喜助

本 社 〒993-0002 山形県長井市蔵前町4番45号

TEL 0238-84-1637(代表) FAX 0238-88-3441

URL <http://www.austh.kisuke.co.jp> E-mail: mgata@austh.kisuke.co.jp



株式会社 安部組

代表取締役 安部 秀一

本社 山形県長井市中道2丁目2番39-1号
電話(0238) 84-3155 (代)
FAX (0238) 84-3156
フロント 山形県長井市日の出町2番
山砂採取場 山形県長井市小出字黒沢

暮らしを支える、確かな技術。

鉄筋工事業



有限会社 長谷部鉄筋

代表取締役 長谷部 和彦

長井市白兔 1893 番地 TEL(0238)88-3668
FAX(0238)88-1052



車検 钣金 塗装

・自動車指定工場
・DIPネットワーク指定工場
・各種自動車販売

有限会社 ボディセンター

代表取締役 佐藤 正幸

工場 山形県長井市緑町 8-35
(長井自動車学校北側) TEL(0238)84-1477 FAX (0238) 84-1478
e-mail body-c@jan.ne.jp



酒田店 しまぎ荘
白川店 白川荘
山形県飯豊少年自然の家

株式会社

飯豊町地域振興公社

代表取締役社長 松山 一利

〒999-0605 山形県西置賜郡飯豊町大字漆川13020-5
Tel : (0238) 74-2161 Fax : (0238) 74-2162
mobile 070-2017-2211
E-mail : matsu2465@gmail.com

写真で見るセミナー

行政書士



山形県行政書士会会員

梅村 伸一

〒993-0052
長井市新町 14 番 29 号
TEL・FAX0238-84-4112
e-mail : s-umemura@camel.plala.or.jp



▲10/11 インボイスの疑問・解決セミナー
講師/長井税理士法人 金田和夫氏



▲11/7 パワハラ防止法対策セミナー
講師/L.C.L 第行 根本ディーン雅子氏



▲11/15 年末調整説明会(小国会場) 11/16 年末調整説明会(長井会場)
講師/長井税務署 河村上席国税調査官



▲1/25 新春講演会(共催事業)
講師/元キンピール(株) 代表取締役副社長 田村 潤氏





法人会の経営者大型総合保障制度

広げよう 企業保障の 大きな傘を

法人会の「経営者大型総合保障制度」は
1971年に創設されました。
想いをつないで50年。
これからも会員のみなさまと共に歩み、
企業保障の大きな傘で
会員のみなさまをお守りしてまいります。

DAIDO 大同生命保険株式会社
山形支社/
山形県山形市諏訪町1-1-1(センチュリープレイス山形4F)
TEL 023-641-2852

AIG AIG損害保険株式会社
山形支店/
山形県山形市七日町3-5-20(富士火災山形ビル3F)
TEL 023-622-4322

謹賀新年

今年も法人会の福利厚生制度の普及を通じ
会員企業の役員・従業員とそのご家族の皆様
に
安心をお届けしてまいります
本年も何卒よろしくお願い申し上げます
令和六年



〈引受保険会社〉 **アフラック** 山形支社
〒990-8580 山形県山形市城南町1-1-1 霞城セントラル

法人会用フリーダイヤル ☎0120-876-505
受付時間/9:00~17:00(土日祝日除く)

消費税の 期限内納付を 忘れずに。

**期限内納付のための
納税資金の積立てを
お願いします!**

納税資金の積立てには、ダイレクト納付
による予納(予納ダイレクト)が便利です。
利用にあたっては、事前にダイレクト納付
利用届出書の提出が必要です。



消費税には申告・
納付期限^(※1)が
あります。

申告・納付には
e-Taxが
利用できます。

個人事業者の方は振替納税も
利用できます。

確定申告書作成コーナーで手軽に申告書が作成できます。

- 基準期間の課税売上高が1,000万円を超える事業者は、消費税の確定申告が必要です^(※2)。
- 期限を過ぎると延滞税がかかる場合があります。
- 確定申告・納付のほか、直前の課税期間の確定消費税額^(※3)に応じて中間申告・納付が必要となります。
- 免税事業者から新たにインボイス発行事業者になられた方には、税負担や事務負担を軽減できる2割特例があります。

直前の課税期間の 確定消費税額 ^(※3)	申告・納付回数
4,800万円超	年12回(確定申告1回、中間申告11回)
400万円超4,800万円以下	年4回(確定申告1回、中間申告3回)
48万円超400万円以下	年2回(確定申告1回、中間申告1回)
48万円以下	年1回(確定申告1回、中間申告不要) ^(※4)

※1 法人は課税期間終了の日の翌日から2ヵ月以内、個人事業者は翌年の3月31日までに消費税の申告と納付を行う必要があります。

※2 インボイス発行事業者の方は、基準期間の課税売上高にかかわらず、消費税の申告が必要です。また、基準期間の課税売上高が1,000万円以下であっても、特定期間の課税売上高が1,000万円を超える事業者は、消費税の確定申告が必要です。

※3 地方消費税を含まない年税額をいいます。
※4 直前の課税期間の確定消費税額が48万円以下の事業者が、「任意の中間申告書を提出する旨の届出書」を提出した場合には、自主的に中間申告・納付することができます。

国税を一時に納付することが困難な場合には、申請により猶予が認められることがありますので、納税が困難な方は、お早めに所轄の税務署(徴収担当)にご相談ください。

